

高知大生へのアンケート

「高知大学での学びに関するアンケート調査」結果
 ●回答者数:2,521名/4,793名 ●回答率:52.6%(回答者/在学者数)

チャレンジしたいこと BEST 3

1 **知識教養** 95%
幅広い知識や教養を身につけるための勉強

2 **専門分野の勉強** 94%
資格・採用試験のための勉強を除く

3 **資格取得のための勉強** 86%

大学で身についた能力 BEST 3

1 **倫理観** 89%
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動するといった考え方

2 **専門分野に関する知識** 88%
大学で専攻した専門分野に関する知識や能力

3 **自律力** 86%
自分の行動に責任を持ち、時間を守るなど社会人として求められる自分をコントロールする力

高知大生の学修意欲は? BEST 3

1 **授業の課題はきちんとやる** 95%

2 **授業は毎回出席する** 93%

3 **グループワークやディスカッションに積極的に参加する** 84%

大学教育への満足度 **80%**

大学生活への満足度 **86%**

1日の授業外学修時間 **2.4時間**

高知大学 まなびのプロフィール 2019



高知大学では、2018年度に在學生と卒業生に大学教育の満足度や学びの姿勢・成果などを聴くアンケート調査を実施しました。高知大学まなびのプロフィールは、その調査結果を在學生のみなさんにフィードバックするためのものです。高知大学の学生はどんな学びをしているのか?アンケート調査の結果から抜粋して紹介します。

アンケートの結果はこちらのリンクから確認することができます。



URL
<https://fdas.kochi-u.ac.jp/kuap/schedule.html>



高知大学卒業生へのアンケート

「平成29年度卒業生調査」結果
 ●回答者数:404名/1,059名 ●回答率:38.1%(回答者/送付数)

本学の卒業生が、地域社会での活躍にどれだけ貢献できているかを測定し、教育施策を改善するための資料とすることを目的に、卒業生調査を実施しています。対象は、前年度に卒業した社会人1年目の卒業生です。

第一志望が高知大学だった人の割合は?

57%

高知大学入学時の満足度は? ※

85%

大学時代の教育に満足していると答えた人の割合は? ※

93%

※ 満足度について4段階の選択肢で尋ね、そのうち「とても満足」「まあ満足」と回答した人の割合

大学時代のことで印象に残っているのは?

●回答が一番多かったのは…
教育に対して熱意のある教員がいたこと **83%**

高知への愛着は?

●回答が一番多かったのは…
高知の自然や風土が好き **91%**

高知大学時代に成長したと思っている人は?

95%

高知大学に対する今の気持ちは?

●回答が一番多かったのは…
大学時代の経験は現在の自分を形成する土台となっていると思う **92%**

大学時代に熱心に取り組んだことは?

●回答が一番多かったのは…
アルバイト **78%**

卒業後も大学時代の教員との付き合いがある人は?

41%

数字ではあらわしにくい能力

高知大学では、みなさんが在学中に「10+1の能力」を身につけてもらえるよう、さまざまなサポートをしています。「10+1の能力」には、コミュニケーション力や協働実践力(他のメンバーと協力して物事をすすめる力)、自律力(計画を立てて、粘り強く最後までやりぬく力)など、数字ではあらわしにくい能力が含まれています。

在学生へのアンケートでは、**倫理観や自律力といった能力が身についたという回答が上位を占めました。**

でも、こうした数字ではあらわしにくい能力は、試験などどちがつて、身についたかどうか自分で判断することが難しいことも事実です。しかも、自分で自分を

倫理観 **89%**
自律力 **86%**

評価するモノさしは、成長の過程で変化します。いいかえると、さまざまな経験を積み重ねていきながら、その都度、周囲の人から感謝されたことや、思わぬ失敗をしたことなどを振り返り、自分に向き合うことで、より客観的に自分を評価できるようになります。

自分ひとりであれこれ思い悩んでいても仕方ありません。友達や先生など、自分のことをよく知っている人に聞いて、自分がどのように映っているのかを知ることが大切です。

授業ではアクティブに！ 授業以外でもアクティブに！！

学修意欲に関しては、「授業の課題はきちんとやる」「授業は毎回出席する」と回答した学生が**90%**を越えており、高知大学生は、真面目に授業に取り組んでいることが分かります。とても素晴らしいことです。

でも、出席が取られ先生の講義をじっと座って聞いているだけではありませんか？課された課題をきちんとやるだけでなく、自分から先生に質問したり、自身で課題をみつけてそれに取り組みたりしていますか？

どちらかというと「受け身」の学修が多くなっているのでは？と心配になりますが、「グループワークやディスカッションに積極的に参加する」が**第3位**にランクインしています。学生のみならずがアクティブに授業に取り組んでいる様子が伺えます。頼もしいことです。

授業の課題は、**95%**
きちんとやる
授業は、毎回出席する **93%**

さらに、「大学での学びを、どのように自分の人生や自分が関わる社会で役立てていくか？」「現在の学問の知見を超えるために、どのようなことができるか？」といった問を持ちつつ、独自の興味・関心や価値観を抱いて考えを深めていくことで、他では代えることができない力を身につけることができるのです。**学修意欲に関する第4位は、「興味をもったことについて自主的に学修する」(79%)**でした。かなり嬉しい結果です。このような大学での学びが、みなさんを「これからの時代に求められる人材」に成長させることでしょう。

10+1の能力とは



周囲の人や社会に働きかける力に！

上記10の能力をうまく結び付け活用する力が、より質の高い成果を生み出します(統合)。また、10の能力を用いて、人や社会に働きかけ、よりよい方向に進めていく能力が、みなさんの卒業後のキャリアを支えるものとなります(働きかけ)。10の力を思う存分発揮して、困難な課題や状況を「なんとかする力」が、+1の能力(統合・働きかけ)です。

高知大学の満足度は？

在学生への調査では、**大学教育への満足度は80%**、**大学生活への満足度は86%**でした。

ちょっと、入試のころを思い出してください。みなさんは、高知大学が第一志望でしたか？卒業生の調査では**第一志望で高知大学に入学した先輩は57%**と、少し複雑な気分での入学してきたようです。

でも、卒業してから振り返って、**大学時代の教育には93%の人が満足している**と回答してくれました。

高知大学に入学した先輩たちは、大学生活でさまざまな経験を積んだのち、いま社会で活躍しながら、懐かしさもこめて、高知大学の教育や学生生活が満足できるものであったと振り返っています。

大学教育への満足度(在学生調査) **80%**
大学生活への満足度(在学生調査) **86%**
大学時代の教育に満足している人(卒業生調査) **93%**

大学生らしい学びとは？ 授業外学修時間について

調査の中で、授業時間以外にどのくらい学修しているかを尋ねてみたところ、**全学年の平均値は2.4時間**になりました。授業以外でのあなたの学修時間はどのくらいでしょうか？自宅の机に座って宿題を片づけるだけが勉強ではなく、授業に関わる調べもので図書館へ行くこと、友達と、授業課題に関わる話し合いをすること、現地まで出かけて行ってフィールド調査をすることも全て大学生らしい学修だといえます。ヤシの木の下でガーデニングでPCを広げて勉強しているのを目にすると、「大学のキャンパスらしくっていいなあ」と嬉しくなります。

1日の授業外学修時間 **2.4時間**

このように、大学に在学している間に、高等学校まで慣れ親しんだ学びの姿勢から、積極的に自ら学ぶ姿勢へと転換していくことは、卒業後の

みなさんのキャリアや年収にも大きく影響します。イギリスのリンダ・クラットン教授によると、「人生100年時代」を迎えて、これまでの人生設計ではなく、新しい人生設計が求められるとされています。大学を卒業して、職業に就いてから、再び大学に戻り、学修する「リカレント教育」も盛んになってきました。4(6)年間のうちに、どれだけ自分の学ぶ姿勢をアクティブかつ深いものに転換していくことができるかは、あなたが授業時間外にどのような学びを展開していくにかかっています。